

福岡県青少年健全育成アワード2025 受賞者

【模範青少年部門】

片島小学校 緑の少年団 (林業振興課推薦) …1頁

敬愛高等学校 インターアクトクラブ
(県警本部推薦) …1頁

Wing – 1. DANCE STUDIO
(県警本部推薦) …2頁

朝倉市立蟻城小学校青少年赤十字団
(県警本部推薦) …2頁

【青少年健全育成部門】

いいづか人材育成グループ『ユリシス』
(飯塚市推薦) …3頁

高柳まちづくり協議会 青少年育成部会
(北九州市推薦) …3頁

月隈武徳館道場 (県警本部推薦) …4頁

一般社団法人umau. (久留米市推薦) …4頁

【青少年の安全・安心な見守り活動部門】

糸島警察署少年補導員連絡会
(少年警察ボランティア協会推薦) …5頁

折尾警察署少年補導員連絡会
(少年警察ボランティア協会推薦) …5頁

若松警察署少年補導員連絡会
(少年警察ボランティア協会推薦) …6頁

【非行等からの立ち直り支援活動部門】

有限会社資源環境サポート
(福岡県就労支援事業者機構推薦) …6頁

福岡県青少年健全育成アワード2025 受賞者概要

模範青少年部門

1

片島小学校 緑の少年団

(京都郡苅田町)

片島小学校緑の少年団は、2013年4月に設立。1年生から6年生の42名（2025年4月現在）で構成され、設立当初から児童が主体となって学校内の花壇や校庭の整備、地域と連携した河川の水質調査などの活動を行っている。

また、京築保健福祉環境事務所や「片島水と緑の里保全組合」の協力のもと、地域の浄土院川の水質調査を実施し、環境保全の重要性を学習している。これにより、地域の自然環境への理解と愛着を深め、環境保全の意識を高めている。

さらに、年に2回、保護者や地域住民と共に学校周辺のゴミ拾いや学校運動場の除草作業等の環境美化活動を実施している。これらの活動を通して、学校が中心となり、地域全体の環境美化に貢献している。



水質環境調査活動



親子環境美化活動

2

敬愛高等学校 インターアクトクラブ

(北九州市門司区)

敬愛高等学校インターバーククラブは、1975年に門司西ロータリークラブから提唱され設立された部活動団体であり、活動資金の提供や活動の提案を受けながら今日まで活動を続け、現在1～3年生までの部員30名で、地域でのボランティア活動やイベント、清掃活動を実施している。

発足以来、学校や駅周辺の清掃活動を月に1回行ったり、地域のイベントや祭りに積極的に参加し、学校で作った食品を出店したり、ワークショップに参加して地域交流を図ったりする等、各種ボランティア活動や社会貢献活動を精力的に行っている。

また、門司警察署と共同で性犯罪や痴漢に関するキャンペーン活動を1年に3回行っている。キャンペーン活動では、被害が多い駅周辺で啓発グッズを配布し、呼びかけを行うことにより、ともに模範少年として活動する姿を示し、社会貢献に繋がっている。



性犯罪、痴漢防止キャンペーン活動の様子

3

Wing – 1. DANCE STUDIO

(那珂川市)

Wing-1.DANCE STUDIOは、地域に根差したダンススタジオとして設立され、現在は小・中学生を中心とした生徒約100名が在籍している。

生徒たちの「地域を元気にしたい」「人の役に立ちたい」という思いから、地域のまつり、各種イベントに積極的に参加、地域住民らと交流し、ダンスに乗せてみなぎるパワーを地域に届けるなどして地域の活性化を図っている。また、老人介護施設や保育園に訪れ、ダンスを通じて高齢の利用者や園児とコミュニケーションを図っている。

2023年以降は、警察、自治体等と協働した各種防犯、交通安全の啓発活動を継続的に実施している。ダンスに歌や劇を交えたメッセージ性の高い安全安心ステージにより、地域全体の防犯意識を高め、地域の安全安心まちづくりに貢献するなど他の青少年の模範となる活動を行っている。



社会福祉法人
悠生会秋祭りの様子



県庁子ども企画展
オープニングイベント



防犯啓発活動

4

ひなしろ 朝倉市立蟠城小学校青少年赤十字団

(朝倉市)

朝倉市立蟠城小学校青少年赤十字団は、1953年の大水害の際、各國の赤十字団のボランティアから様々な救援を受けたことから、その善意にこたえるため、1954年に発足。中には親子三代にわたり、活動に関わる家庭もあるなど、70年以上にわたり活動が受け継がれている。同活動を体験した卒業生が成人として地域活動の担い手となるケースもあり、こうした状況下において、親子、地域、学校が一体となって、少年の健全育成を図っていこうとする環境が醸成されている。

現在は全校生徒53名が、毎週水曜日にトングとゴミ袋を持って登校し、通学路の道路や水路のゴミを拾い、地域環境美化に貢献している。拾ったゴミは、昼休みに校庭に広げ、分別した上で処理するなど、こうした活動は、児童の健全育成を図る中で環境保護教育にも繋がっている。

青少年健全育成部門

5

いいづか人材育成グループ『ユリシス』 (飯塚市)

2007年度、2008年度に飯塚市教育委員会主催の「飯塚市中学生海外研修事業」へ参加し、オーストラリアでファームステイやホームステイ、野外体験等を経験した研修生O B・O Gが中心メンバーとなり、2009年11月に設立。飯塚市を中心として活動しているボランティアグループである。

「地域貢献」「異世代間交流」「国際交流」を活動のテーマとし、様々なことに参加・協力・チャレンジして、その活動の中で出会う方々との交流を通じて、「自ら学び、感じ、成長していくこと」をモットーに、来日間もない外国人支援と異文化間交流を目的とした日本語教室の運営支援、乳幼児、小学生、高齢者等との異世代間交流を目的とした地域での交流センター事業へ協力、二十歳を祝う会における運営支援、民間財団等の助成事業を活用した事業実施等を15年以上継続し、活動している。



「外国人のための日本語教室」
学習者支援



海洋体験事業



「二十歳を祝う会（旧成人式）」
運営補助

6

高槻まちづくり協議会 青少年育成部会 (北九州市八幡東区)

2001年、高槻まちづくり協議会設立と同時に青少年育成部会を発足。主に青少年の健全育成の推進及び、保・幼・小・中との地域活動の連携の推進を図ることを目標に活動している。

地域の各行事に青少年育成部会として積極的に参加したり、市民センター・小学校等と連携したり、と地域全体での青少年健全育成活動推進に努めている。

「どんど焼き」や「餅つき」など伝統行事を通して多世代交流の推進を図ったり、「花いっぱい活動」では、小学校児童が花の種まき・苗づくり等を自分たちで行い、育てた花の苗を地域の施設等に提供する取組を行っている。本活動は地域の小学校と連携し学習の一環として位置付けられており、活動を通じて児童の「いのち」を守り大切にする思いやりの心を育み、青少年健全育成に大きく貢献している。



餅つきの様子



花いっぱい活動

7

月隈武徳館道場

(福岡市博多区)

1973年、柔道を通じた青少年の健全育成を図ることを目的に前身の月隈少年柔道クラブを設立。その後、現代表者が月隈武徳館道場として引き継ぎ、礼儀・感謝・謙虚を心に活動を継続。

本道場は、柔道の鍛練を通じた精神力や忍耐力の向上はもとより、将来社会のリーダー的存在となれる人材に育つて欲しいとの願いを掲げ、礼儀作法の習得から相手を敬う心、人に感謝する気持ちを学ぶこと、常に謙虚であること等に重点を置いた人間形成（指導・育成）を図っている。

毎年2月には、県内及び九州各県等から約1,000名の選手（幼児・小学生対象）が集結し熱戦を繰り広げる、西日本最大級の柔道大会である「月隈少年柔道大会」（1978年から開催）を主催しており、青少年のスポーツ交流の機会提供に貢献している。

また、柔道以外にも、道場周辺の清掃活動、あいさつ運動、野外活動を行い、青少年の自主性や協調性、社会性、忍耐性といった育成を図っている。



柔道大会の様子

8

一般社団法人umau.

(久留米市)

幅広い年齢層が集う居場所づくりの展開を行っており、特に一般的に集まりにくい傾向がある高校生や成人した若者までが集い、活動を共にしている団体である。

親子食堂（子どもとその親を対象とした食事提供）をはじめ、こども・若者の居場所づくり、フードパンtries（食料の支援）、就業支援、小学生向けプレゼン教室、病気や緊急時のお預かり宿泊や送迎等、困難を抱えるこども・若者とその家族に対し幅広く包括的な支援を行なっている。

「血縁のない大家族づくり」を掲げ、血縁を超えた大家族という新たな共同体を創出し、社会的孤立という根本課題に挑み、頼れる関係性を地域に再構築している本団体は、子ども・若者・子育て家族などのニーズを当事者視点で活動に落とし込んでおり、久留米市にとっても欠かせない存在となっている。



普段の様子

青少年の安全・安心な見守り活動部門

9

糸島警察署少年補導員連絡会 (糸島市)

設立時から約47年にわたり、街頭補導活動や登下校時の見守り活動を中心とした各種活動を行い、少年の非行防止及び健全育成に尽力している。

街頭補導活動は、集団による徒步活動及び青パトを活用した広範囲のパトロールを実施し、顯示効果を高め、少年の非行防止のみでなく地域の安全安心にも寄与している。

児童生徒への見守り活動は、登校時及び下校時に実施し、毎日のように継続的に実施することにより、少年の健全育成だけでなく、地域の安全安心及び交通事故抑止等にも寄与している。

本年度から、人的交流等の生活圏が共通する隣接警察署の少年補導員連絡会と合同の研修会を行い、各管内における少年の情報を共有するとともに、本部少年課等が実施する各種研修会等で得た知識技能のフィードバック教養や声かけ要領のロールプレイ等を実施しており、署の管轄を超えた効果的な活動を推進している。



夜間街頭補導



合同研修会の様子

10

折尾警察署少年補導員連絡会 (北九州市八幡西区)

1967年10月9日に折尾警察署長の委嘱で設立され、少年の非行防止と健全育成を目的に街頭補導や夜間パトロール、児童の見守り活動を行っており、特に非行少年に対する立ち直り支援に力を入れている。

少年警察学生センターと共同しての学習支援や、就職を希望する少年には管内の企業を紹介する等（折尾警察署職場警察補導連絡会との連携）の就労支援を行っている。

現在の取り組みとして、管轄の学校警察連絡協議会と共同して「非行防止イラストコンクール」を立ち上げ、児童生徒から非行防止に関する絵を募集して審査のうえ表彰を行い、同作品を管内の商業施設に掲示する等の広報啓発活動を行っている。この活動を通じて児童生徒の規範意識の向上や、地域住民に少年の非行防止、立ち直り支援の意識の醸成に繋がり、青少年の健全育成へ大きく貢献した。



夜間街頭補導



学習支援活動



非行防止イラストコンクール

非行等からの立ち直り支援活動部門

11

若松警察署少年補導員連絡会 (北九州市若松区)

1967年4月1日に若松警察署長の委嘱で設立され、少年の非行防止と健全育成を目的に街頭補導や夜間パトロール、児童の見守り活動等を実施している。

「街頭補導活動」「登下校の見守り活動」等を中心とした各種活動を継続実施しており、加えて昨年からは「性犯罪抑止の街頭広報活動」「インターネット利用における子どもの性犯罪等被害防止啓発」活動を実施。また、保育園等で開催される各種防犯活動等において警察官とともに参加して、不審者から身を守る等の防犯活動意識を醸成させる活動を行うなど、青少年や子どもの非行防止や健全育成活動を積極的に行っている。

年に1度行っている非行防止カルタ会は、児童らが学校や年齢の垣根を越えて触れ合うことのできる場所であり、居場所づくりに一役かっているほか、多数の児童、少年補導員と触れ合うことで、自主性・協調性の涵養、規範意識や社会性の醸成など多くの効果を生み、カルタ会を通じて地域社会に貢献できるものとなっている。



保育園での防犯教室の様子



街頭夜間補導



非行防止カルタ大会

12

有限会社資源環境サポート (福岡市南区)

有限会社資源環境サポートは、福岡県内の主に福岡市とその周辺市町村を中心に、再資源化物回収・産業廃棄物収集運搬・グリストラップ清掃・排水管洗浄・遺品整理・家財整理を行う企業である。

2014年2月より協力雇用主として活動しており、刑務所出所者等及び非行少年等の更生のための就労支援の受け入れ、非行少年等の就労体験の受け入れ等を行い、非行少年の就労支援、居場所づくりに貢献している。

就労体験を作業の指導だけでなく、働くことの大切さや社会の一員としての自覚を育てる機会として位置づけており、産業廃棄物収集運搬業という安全管理が重要な現場においても、丁寧な作業指導と安全教育を通して、少年たちが安心して働ける環境を整え、作業を通して、挨拶や報告・連絡などの基本的な社会スキルを自然に学べるよう工夫をし、少年たちにとって実践的な社会参加の場を提供している。



作業風景